

山陰海岸ジオパークトレイルの開発とコロナ禍におけるジオツーリズムの推進

Developing the San' in Kaigan Geopark Trail and the promotion of geotourism during COVID-19 Pandemic

*中瀬 宏¹

*Hiroshi Nakase¹

1. 山陰海岸ジオパーク推進協議会

1. San'in Kaigan Geopark Promotion Council

山陰海岸ジオパークトレイルは、2020年2月、鳥取県鳥取市から京都府京丹後市まで東西230kmのルート設定が完了した。

新型コロナウイルス感染症の拡大により観光客が激減し、観光産業が大きな打撃を受けるなかで、2020年は「今こそ自然回帰！山陰海岸ジオパークトレイルへ！」と題し、完成したトレイルを活用した雇用・消費の維持確保など地域経済の再活性化、地域住民の健康維持、国立公園の利用促進、環境保護意識の醸成につながる地域内キャンペーンを実施した。

実施にあたっては、コロナ後のジオツーリズム強化に向け、ビジターセンター、ジオガイド、アウトドアアクティビティ事業者、小売業、飲食業が連携してジオサイトの保全と観光サービスの提供を行う体制を構築した。

このキャンペーンの内容と、2020年の事業成果、今後の展開について紹介する。

キーワード：山陰海岸ジオパーク、観光、保護保全

Keywords: San' in Kaigan Geopark, tourism, protection and conservation